

第12回 沼津市中心市街地まちづくり戦略会議

令和5年8月7日
沼津市水道部庁舎 3階会議室

1. これまでの検討と令和5年度の実組
2. (都) 三枚橋錦町線暫定整備 (パークレット設置) について
3. 中期駅前広場実現に向けて
4. 情報発信の実組
5. 本日の検討・確認事項
6. 戦略会議・WG等のスケジュール



1.これまでの検討と令和5年度の取組

中心市街地まちづくり戦略の実現に向けて

令和2年3月

中心市街地まちづくり戦略

戦略Ⅰ：ヒト中心の公共空間の創出

戦略Ⅲ：まちなか居住の促進と市街地環境の向上

令和4年6月

まちづくりのシナリオ

中心市街地において取り組むまちづくりの「実践する手順・施策・狙う効果」を描き、共有する

まちづくりシナリオを動かすためのアクションプラン・指針を作成

公共空間再編整備計画

沼津市が取り組む中期までの公共空間再編に関する具体的なアクションプラン

都市空間デザインガイドライン

民間と沼津市が取り組む民間敷地・建物と公共空間を含むまちなみづくりのガイドライン



R4年度の取組

戦略会議での議論・検討事項

- 三枚橋錦町線西側区間の整備方針の作成
- 一般車乗降場社会実験の検討
- 情報発信の取組

OPEN NUMAZU STREET 2022

【期 間】
令和4年4月6日（水）
～4月26日（火）
21日間

【場 所】
イーラde周辺歩道及び
南側車道の一部



OPEN NUMAZU ARCADE 2022

【期 間】
令和4年10月27日（木）
～11月15日（火）各日9
時～19時

【場 所】
沼津仲見世商店街



社会実験の取組

今年度の取組（戦略会議での議論事項）

戦略会議での議論・検討事項

①三枚橋錦町線西側区間の整備に向けて

- ・ 滞留空間の暫定整備と設計に向けた検討

②中期駅前広場整備に向けて

- ・ 一般車乗降場社会実験の検討深度化
- ・ 沼津駅南口交差点の地上横断化検討

③情報発信の取組

- ・ 総合WEBサイトの作成やさまざまな発信手段の検討

④社会実験（OPEN NUMAZU）の取組

- ・ まちづくりシナリオの実現に向けた社会実験

今年度の取組（社会実験）

社会実験の取組

2023年度の社会実験では①**長期の滞在スペース設置**と②**短期の滞在スペース展開**の2つの取り組みでまちなかりビング空間が広がる未来を目指します。



①OPEN NUMAZU 2023

- ・7月から12月までの約半年間、滞在空間を常設する（仲見世商店街2ヶ所）
- ・地域事業者の店先空間（民地）にて滞在スペース展開を促進する



②OPEN NUMAZU weekend 2023

- ・7月から12月の間、月に一度の3日間、仲見世商店街を中心としたまちなかエリアで実施する
- ・移動できる家具で滞在スペースを展開する
- ・賑わいを生み出すコンテンツを展開する



街中が居場所になる
「まちなかりビング空間」

今年度の取組（社会実験）・7月開催の様子

7月のテーマ：『音楽』 あふれる日常



▲バイオリン、ピアノLIVE



▲DJパフォーマンス



▲終了時には拍手が沸き起こる。



▲ストリートピアノ



▲JAZZ LIVE



▲観光客も多く訪れ利用する姿がみられた。

今年度の取組（社会実験）・7月開催の様子



▲出店の様子



▲滞留空間の利用の様子



▲昨年からのリピーターの姿も多く見られる



▲什器管理協力店舗での利用の様子



▲まちで使われなくなったものを循環させる取り組み



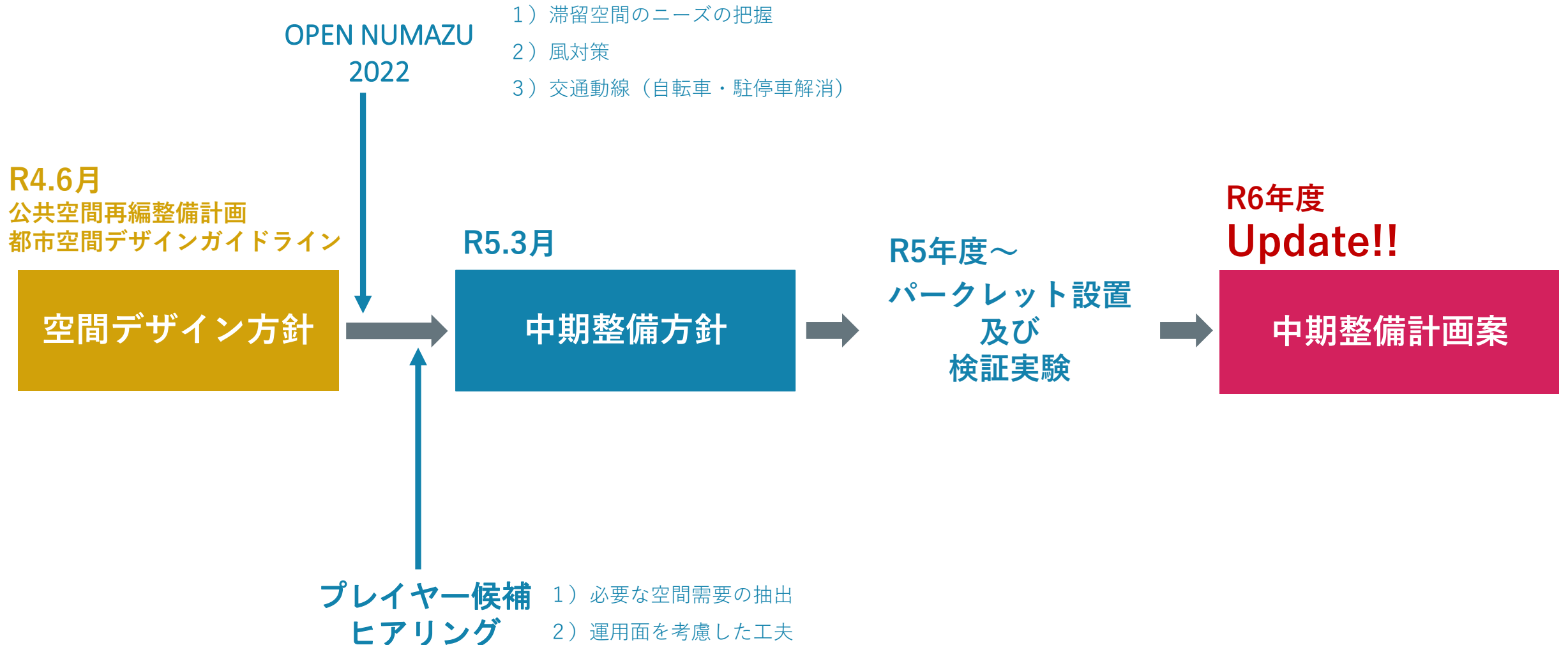
▲沿道店舗にも前向きな変化が生まれる。



2.三枚橋錦町線西側区間整備に向けて

三枚橋錦町線西側区間の整備に向けた全体の流れ

■利活用を見据えた社会実験の実施やヒアリング調査によって中期整備方針を作成



三枚橋錦町線整備方針（案）

■整備の全体構成方針

1 ほこみちを想定した最大限の約3m幅員の利活用空間づくり

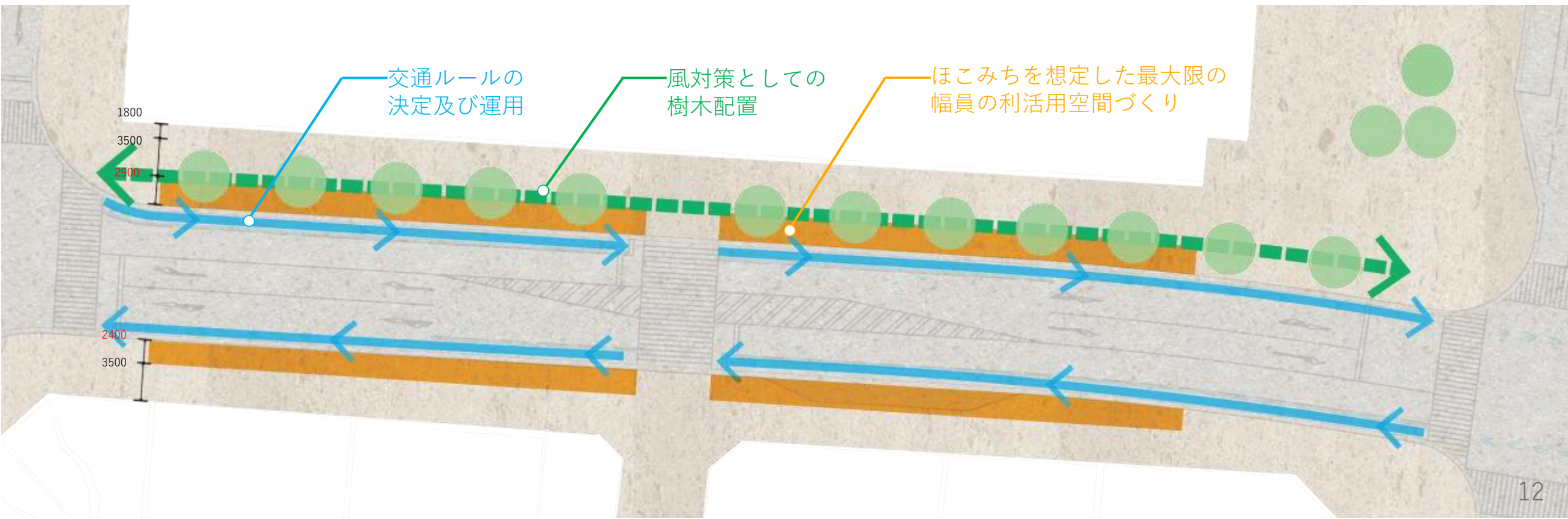
→令和5年度にパークレットを設置・活用しながら検証

2 風対策としての樹木配置

→10m間隔で高さ8m程度を想定

3 交通ルール決定及び運用

→南側の荷捌きは、その必要性について議論が必要（R5年以降）



三枚橋錦町線整備方針（案）

■整備全体の空間方針

1 | 居心地がよく出店しやすい空間を目指し、必要な要素を取り入れる。

- 安心・安全 : 照明・ボラード・柵
- 快適性 : ベンチ・カウンター・ボードデッキ・植栽帯
- 出店しやすさ : インフラ・固定アンカー・出店可能な舗装面

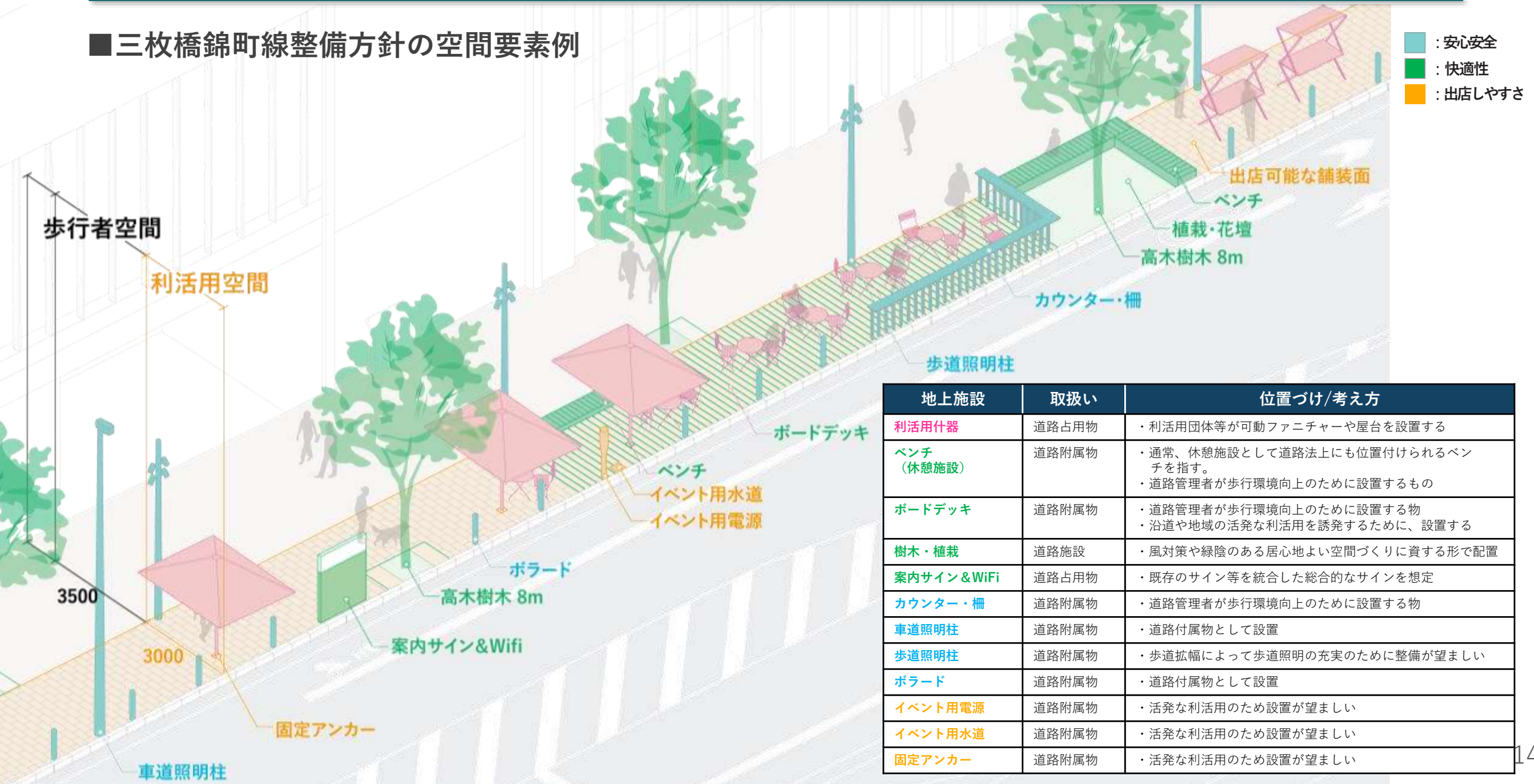
2 | 運用面からのフィードバックを行います。（R5年度内容）

- ・ 滞留空間の管理面・運用面
 - 将来のエリアマネジメント団体のあり方や運用
 - 日常的な空間の運用及び維持（什器整備等）
- ・ 多様な出店・活用のトライアル（キッチンカー、セミナー、ポップアップ）

三枚橋錦町線整備方針（案）

中期整備方針

■三枚橋錦町線整備方針の空間要素例



地上施設	取扱い	位置づけ/考え方
利活用什器	道路占用物	・ 利活用団体等が可動ファニチャーや屋台を設置する
ベンチ (休憩施設)	道路附属物	・ 通常、休憩施設として道路法上にも位置付けられるベンチを指す。 ・ 道路管理者が歩行環境向上のために設置するもの
ボードデッキ	道路附属物	・ 道路管理者が歩行環境向上のために設置する物 ・ 沿道や地域の活発な利活用を誘発するために、設置する
樹木・植栽	道路施設	・ 風対策や緑陰のある居心地よい空間づくりに資する形で配置
案内サイン&WiFi	道路占用物	・ 既存のサイン等を統合した総合的なサインを想定
カウンター・柵	道路附属物	・ 道路管理者が歩行環境向上のために設置する物
車道照明柱	道路附属物	・ 道路附属物として設置
歩道照明柱	道路附属物	・ 歩道幅によって歩道照明の充実のために整備が望ましい
ポラード	道路附属物	・ 道路附属物として設置
イベント用電源	道路附属物	・ 活発な利活用のため設置が望ましい
イベント用水道	道路附属物	・ 活発な利活用のため設置が望ましい
固定アンカー	道路附属物	・ 活発な利活用のため設置が望ましい

三枚橋錦町線整備方針（案）

■三枚橋錦町線整備方針の各空間の要素例

緑豊かな日常の居場所

居心地の良い日常の滞留空間を主軸として、東西に流れる強風緩和の機能としての樹木を生かし、日かげなどによる居心地の良さの向上を図る。

機能

- 常緑の高木樹木
- プランターなど身近な緑の設置
- 滞留可能な固定休憩施設
- 長い直線を活かしたイベントスペース

沿道店舗と連携した出店スペース

商業施設の地先空間活用を想定し、出店利用が可能な空間を十分に確保するとともに、購入品の飲食や整理など休憩以外の目的でも滞留が可能な空間とすることで居心地の良さを構成する。

機能

- 常緑の高木樹木
- 出店可能なデッキスペース（大）
- 出店を容易にする工夫装置
- 滞留可能な固定休憩施設

外堀通りの玄関口

駅前広場と三枚橋錦町線をつなぐ場所である特性を活かし、外堀通りの利活用の象徴的空間とする。待ち合わせや休憩といった滞留や出店など、まちなかに関わりを持てる空間を構成する。

機能

- 風除けの樹木を中心とした、まとまった植栽エリア
- 滞留可能な固定休憩施設
- 玄関口としてのサイン機能
- 出店可能なデッキスペース（中）

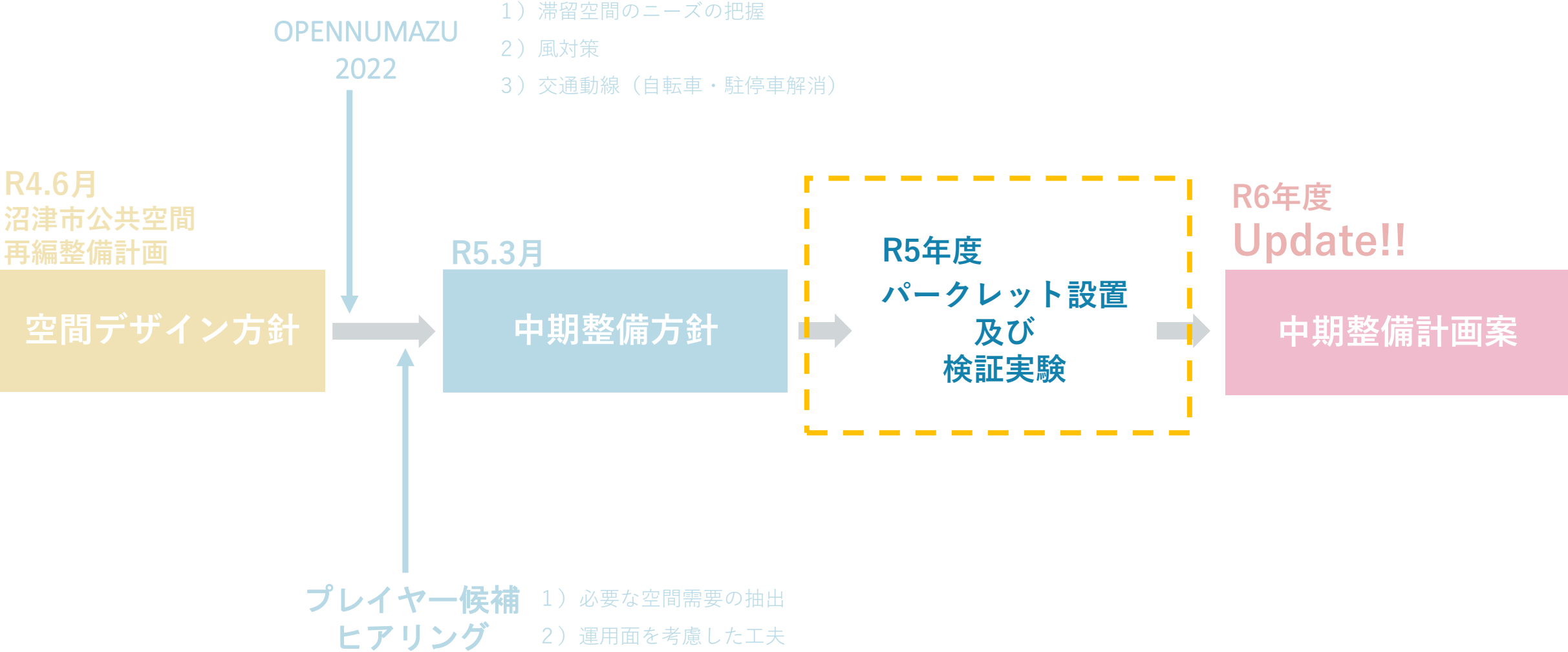
さんさん通りと仲見世をつなぐ日常の居場所

さんさん通りや仲見世商店街などの人の往来が多い通りとつながる特性や沿道店舗の特性を活かし、待ち合わせや飲食店への順番待ちといった、日常の暮らして使われる空間を構成する。

機能

- 結節点としてのサイン機能
- 一人でも居心地の良い固定的な滞留施設
- 長い直線を活かしたイベントスペース
- プランターなど身近な緑の設置

三枚橋錦町線西側区間の整備に向けた全体の流れ



(都) 三枚橋錦町線暫定整備 (パークレット設置) について

■パークレット設置の位置付けとねらい

2022年に実施した道路利活用社会実験を踏まえて、三枚橋錦町線の道路整備に向けた暫定整備を実施します。

パークレットは、道路上に設置される日常の居場所となるような滞留スペースとして設置し、中期整備方針で設置を検討している利活用施設や機能について、計画の精度を高めるための検証を行います。

パークレット設置の検証項目

- ①長期間の滞留空間づくり
- ②中期整備メニューの深度化
- ③滞留空間の運営マネジメント

イーラde

パークレット設置場所

パークレット事例 (道路上での滞留スペースの設置事例)



(都) 三枚橋錦町線暫定整備（パークレット設置）について

■検証テーマ①：長期間の滞留空間づくり

1. 車道設置上の安全性の確保

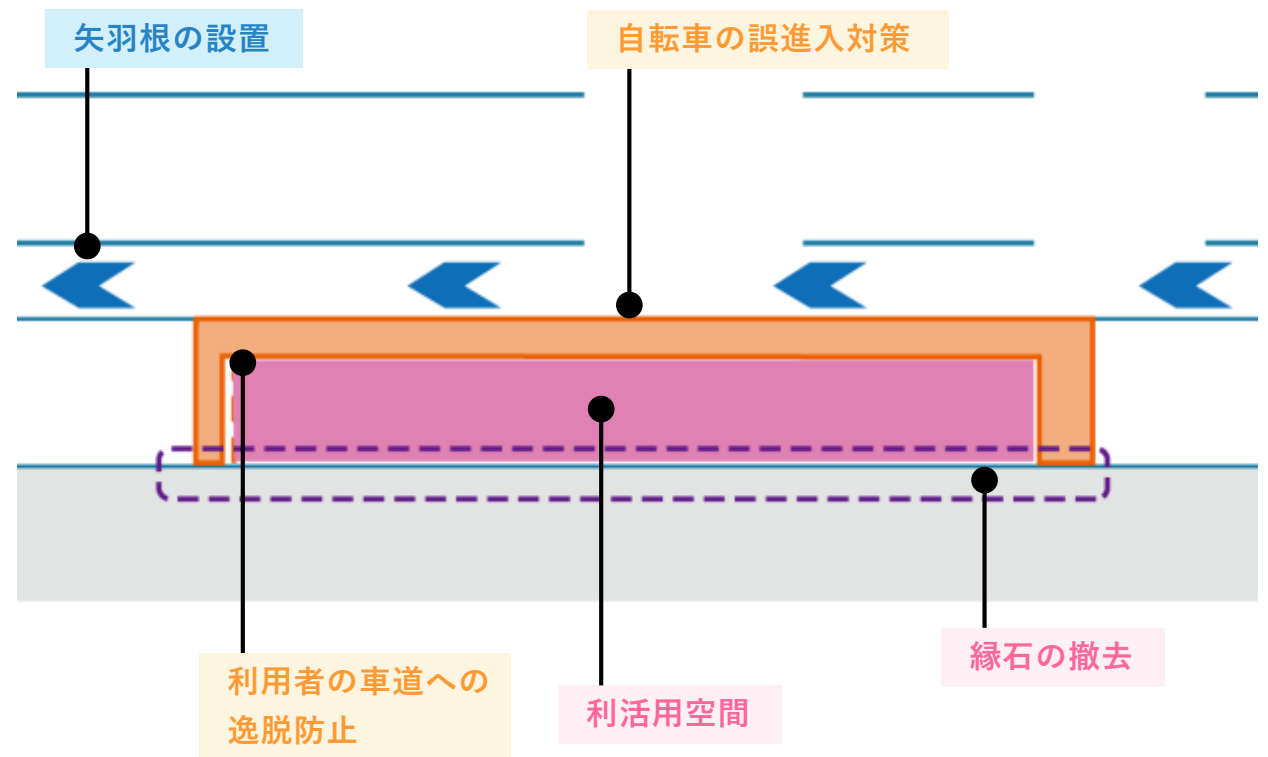
車道設置のため、車両の誤進入や利用者の車道への逸脱など、利用者の安全を確保する**安全施設を設置**する。

2. 交通機能の再分担による利用者の安全性確保

自転車の歩道走を防止するため、パークレット設置に伴い**矢羽根を設置**。車道に走行位置を明示する。

3. 利用上の日常ニーズの発掘

これまでのOPEN NUMAZUで確認された日常的な**アクティビティ**や利用人数、バリアフリーに配慮した利活用空間を構成する。



(都) 三枚橋錦町線暫定整備（パークレット設置）について

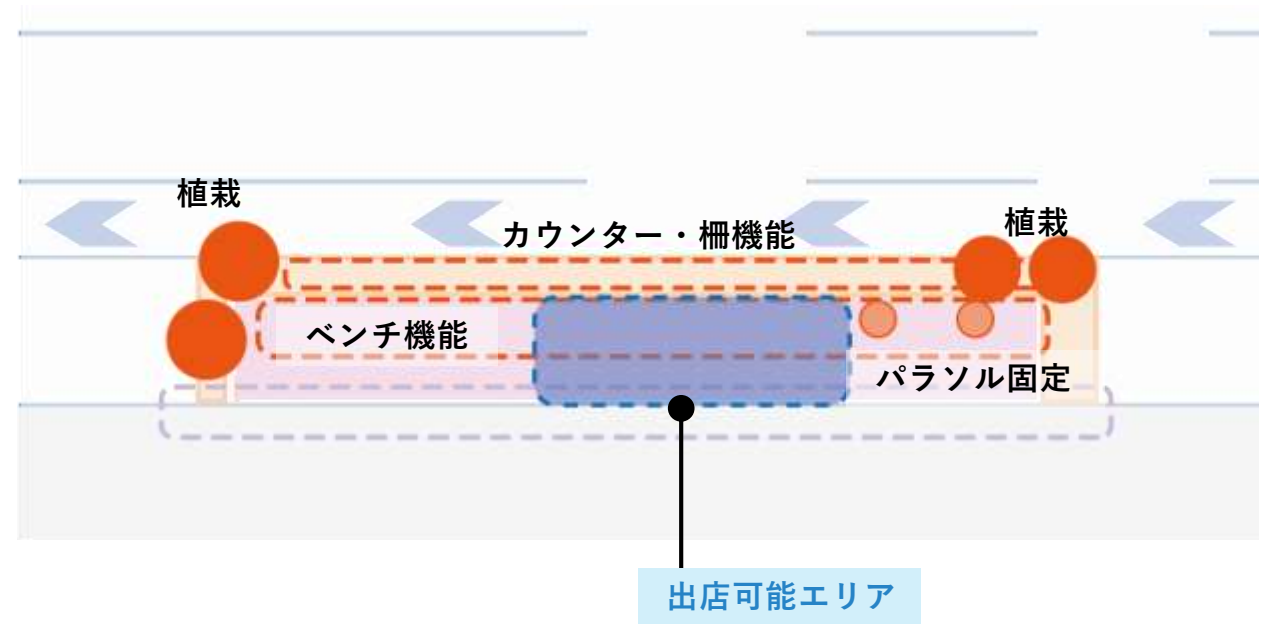
■検証テーマ②：中期整備メニューの深度化

1. 面的空間による可変的な使われ方

ヒアリングで得られた必要なモノの需要と効果を検証すべく、面的空間を用意し、出店等の活用ができるエリアとして利用する。

2. 三枚橋錦町線中期整備基本方針の検証

現況のインフラ状況を踏まえながら中期整備基本方針に記載されている「整備項目」から、暫定整備として、可能なものの内から取捨選択し、導入する。
→日よけ設備（パラソル）やカウンターなどを設置



(都) 三枚橋錦町線暫定整備（パークレット設置）について

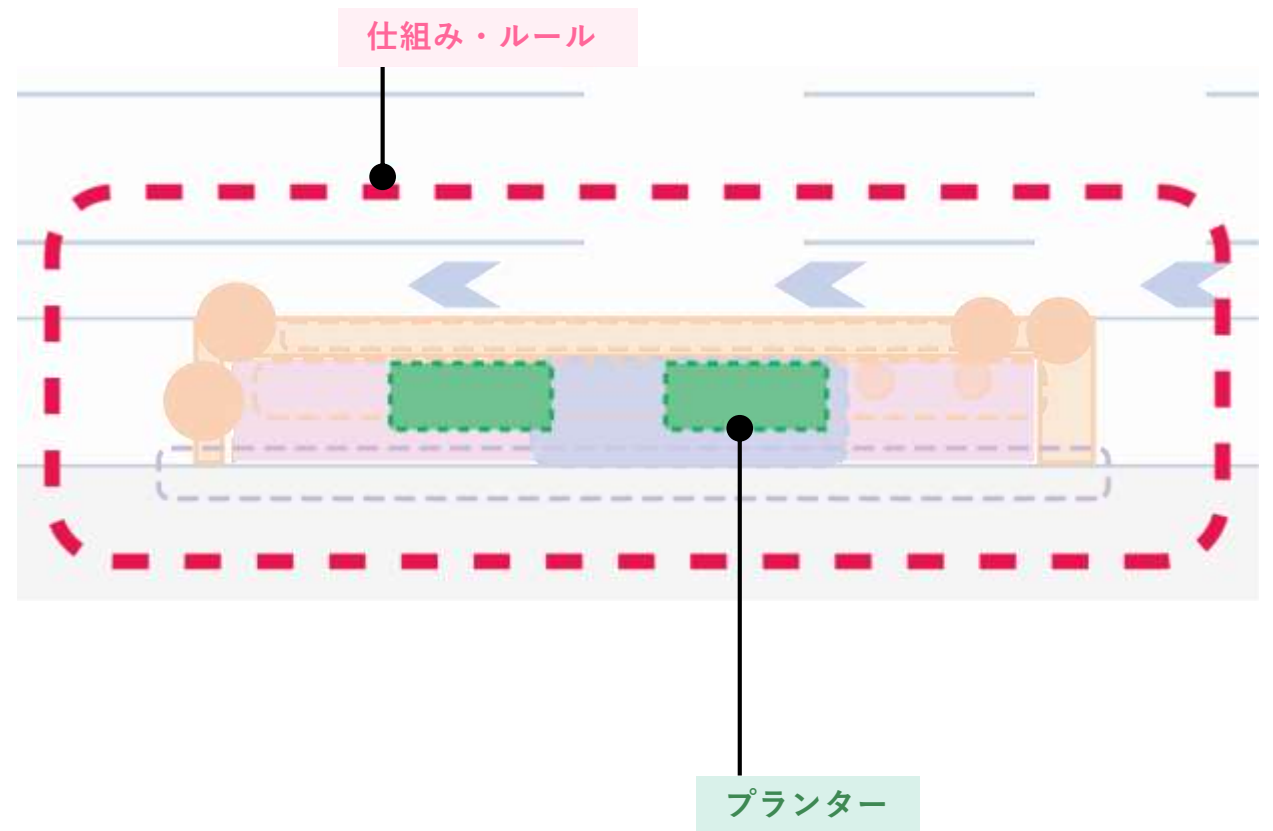
■検証テーマ③：滞留空間の運営マネジメント

1. 樹木・植栽の維持管理

強風や照り返しによって樹木・植栽の生育が困難な環境である。地域のプレイヤーや、沿道テナント、近隣の学校などの協力が不可欠となる。

2. 出店等のルールや仕組みの検討

パークレットやイーラde地先空間で出店をする際の窓口やルールなどを担当する事務局が必要となる。地元関係者との調整を経て、立ち上げることでまちに能動的に関わるきっかけを生み出す。



(都) 三枚橋錦町線暫定整備（パークレット設置）について

■パークレットで設定する利活用イメージ

これまでのOPEN NUMAZUで確認されたアクティビティがパークレットでも発生するよう空間を構成する。

主に見られた利用

1人～2人の少人数での利用

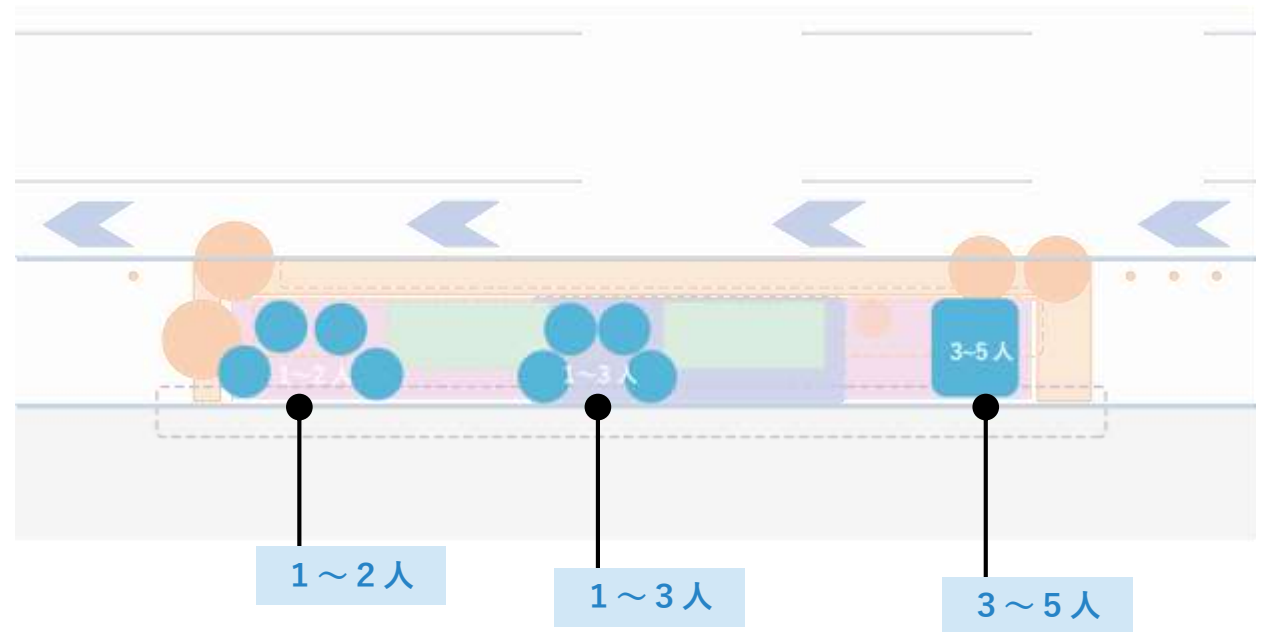
休憩や飲食、テレワークなどで1人での利用が全体で見られた。日常生活の居場所になっていた。

1グループ（2～5人程度）による利用

友達や親子、家族での利用も見られ、それぞれが飲食や会話など日常的なアクティビティで過ごしていた。

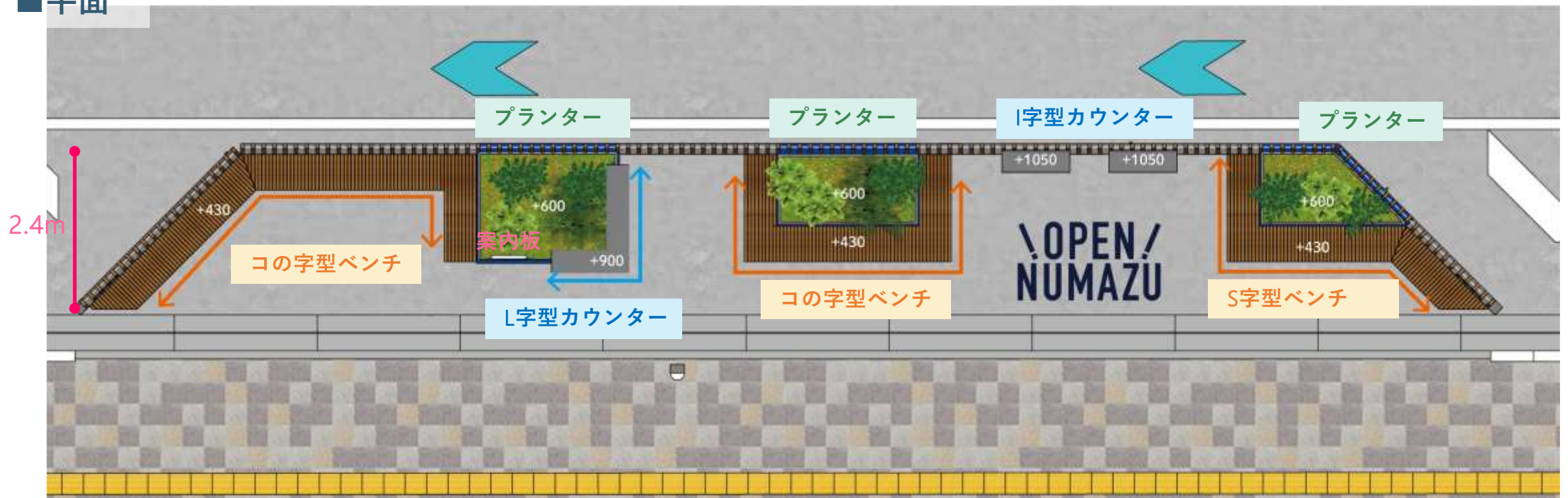
大人数での利用

学生に多く見られ、昼食や放課後に訪れ利用していた。
→一方でWSやセミナーなどの利用は見られなかったため、今年度のフレキシブルエリアでの利活用を促す。

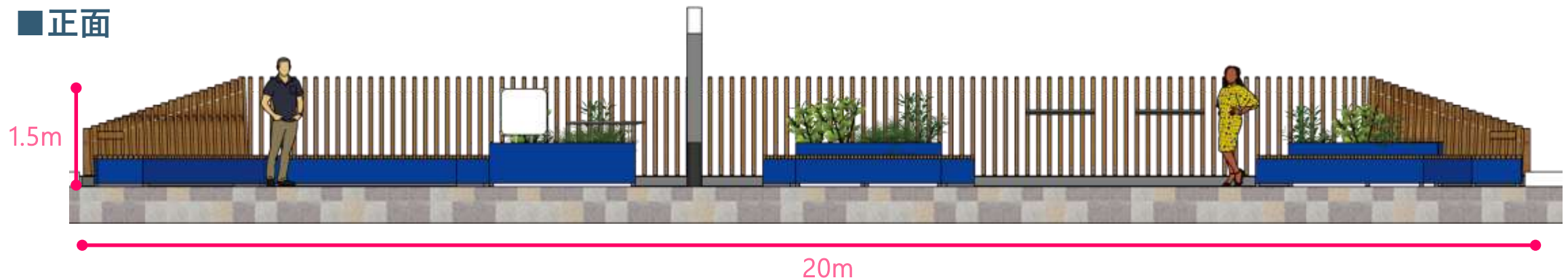


(都) 三枚橋錦町線暫定整備 (パークレット設置) について

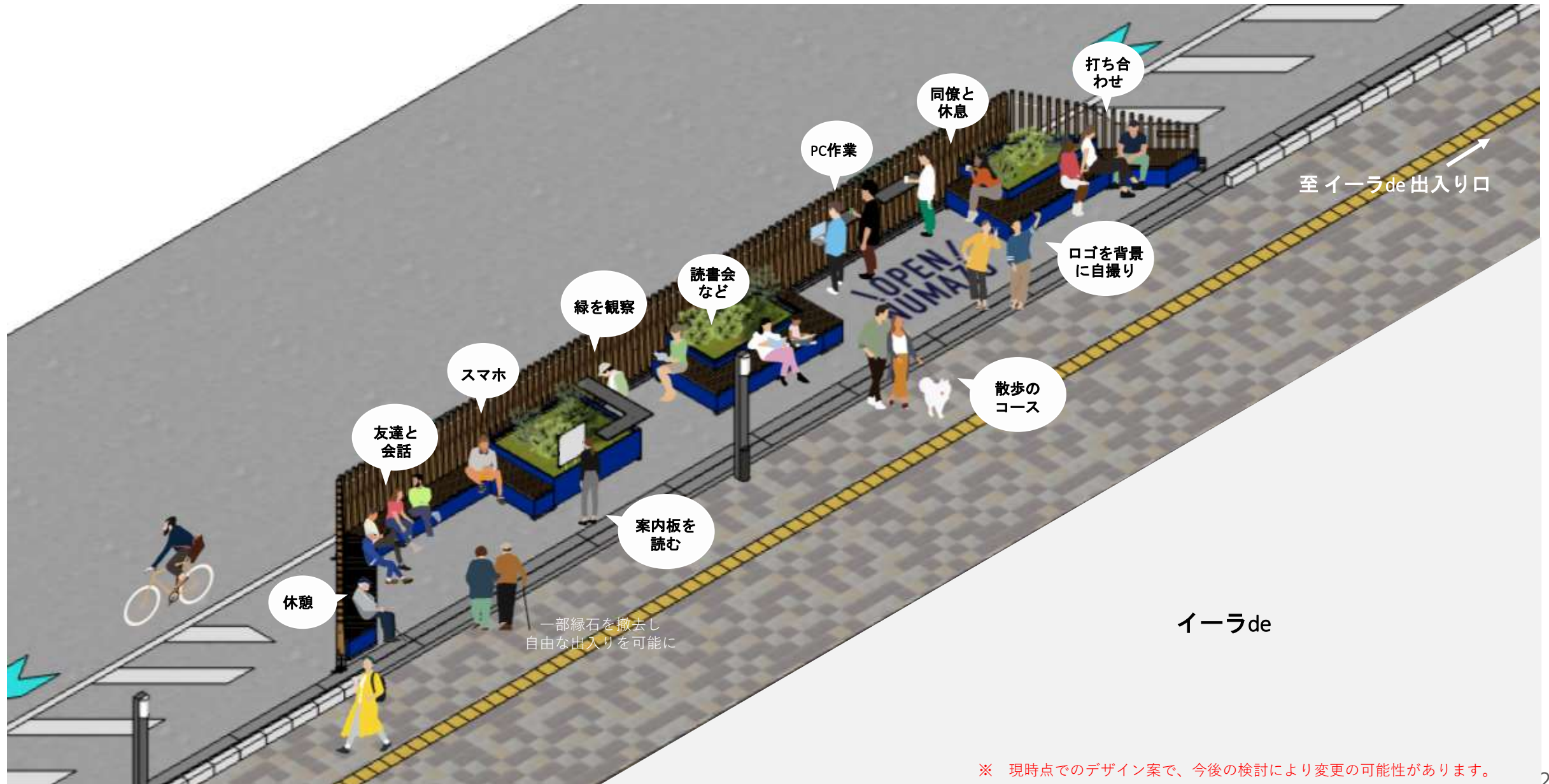
■ 平面



■ 正面



(都) 三枚橋錦町線暫定整備 (パークレット設置) について



(都) 三枚橋錦町線暫定整備 (パークレット設置) について

パークレットの利活用事例 (他都市でのパークレット活用事例)



テイクアウトによる持ち寄り食事会



芝生や遊具による遊び場



たたみでのお茶会



屋台出店でコーヒーをテイクアウト

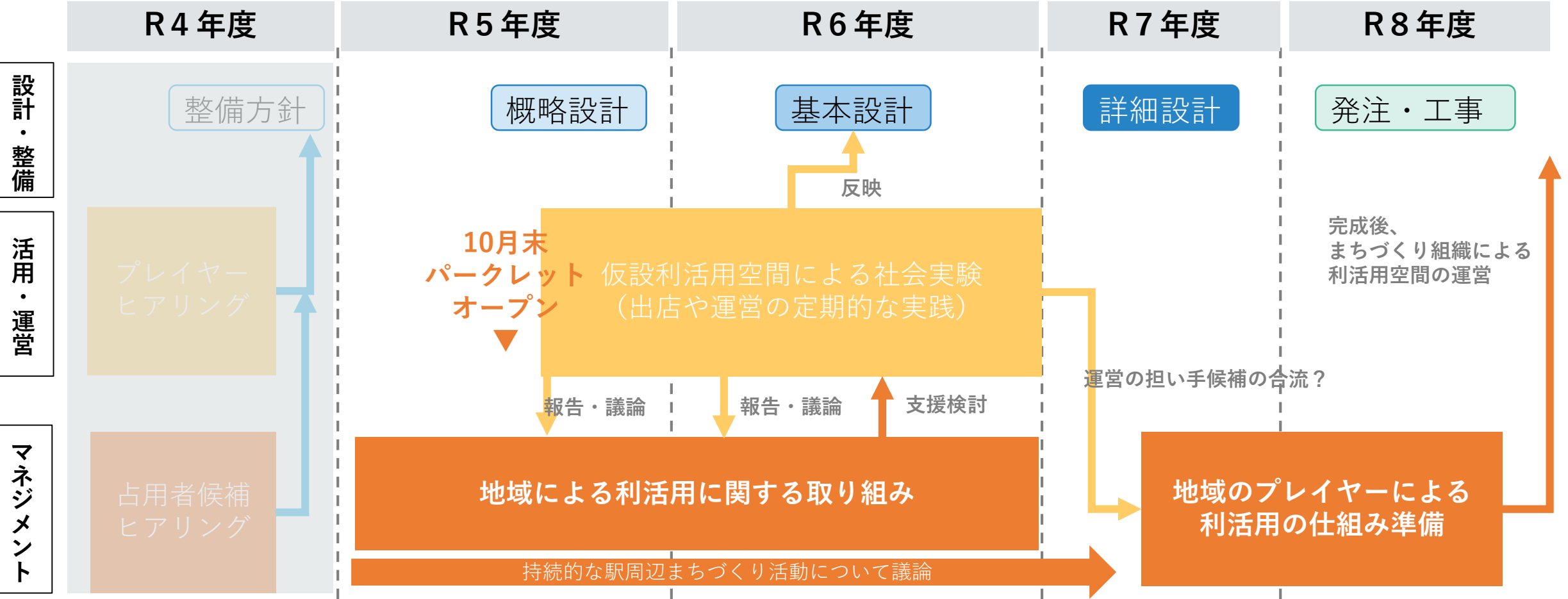


カウンターテーブルでおしゃべり・仕事・ちょっとした時間つぶし

三枚橋錦町線西側区間の整備に向けた検討

■整備のステップについて

将来の空間利活用の実践の場として長期的な社会実験（R5・R6）を実施し、併せて沼津駅周辺のまちづくり活動やそれを支えるマネジメント組織のあり方について議論を進め、持続可能なまちづくりに向けた仕組みづくりを目指す。





4. 中期駅前広場の実現に向けた検討

中期に向けた公共空間再編の整備方針

「利活用広場」：空間利活用によるにぎわい空間



周辺事業者等による公共空間の利活用によりにぎわいを生み出し、市民の日常的な居場所となる広場。歩行者動線と空間特性の高いポテンシャルを活かし、市民が集う場所とする。

R 8 年整備予定

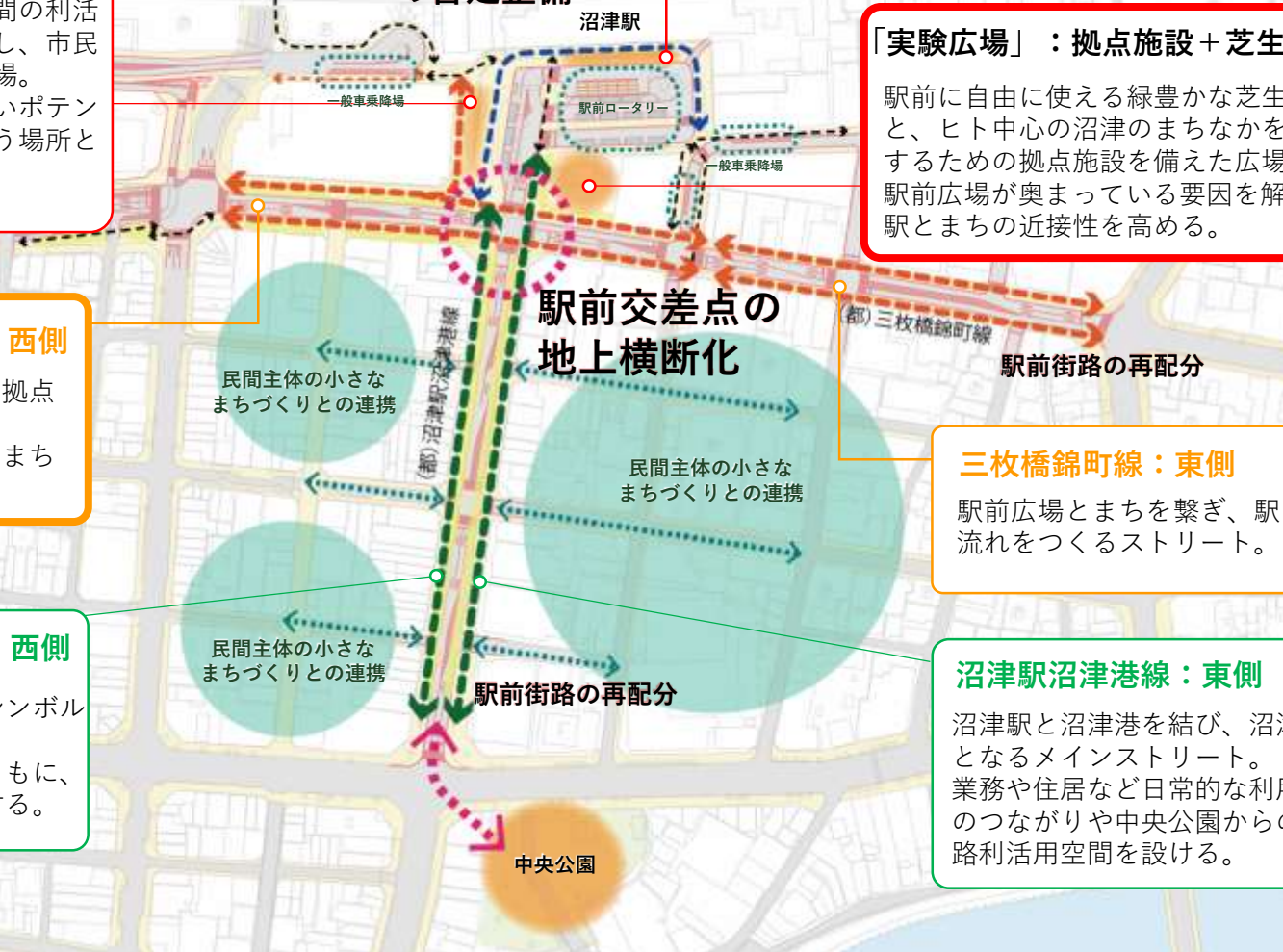
三枚橋錦町線：西側

沼津駅周辺の商業の中心として、回遊性の拠点となるストリート。沿道店舗等の地先利用により駅前広場からまちへとにぎわいをつなげる。

沼津駅沼津港線：西側

沼津駅と沼津港を結び、沼津のまちなかのシンボルとなるメインストリート。西側の仲見世商店街との接続性を高めるとともに、沿道店舗の利用と連携した滞在空間を創出する。

南口駅前広場の暫定整備



「おもてなし空間」：まちの玄関口

駅利用者へのおもてなし空間として、公共交通・観光などのサインの充実やまちへの誘導、待ち合わせ空間の創出など、まちの玄関口としての機能を充実させる。

「実験広場」：拠点施設＋芝生広場

駅前に自由に使える緑豊かな芝生広場と、ヒト中心の沼津のまちなかを実装するための拠点施設を備えた広場。駅前広場が奥まっている要因を解消し、駅とまちの近接性を高める。

R 6 年整備予定



三枚橋錦町線：東側

駅前広場とまちを繋ぎ、駅まち環状へと人と交通の流れをつくるストリート。

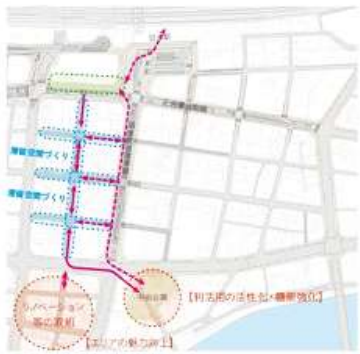
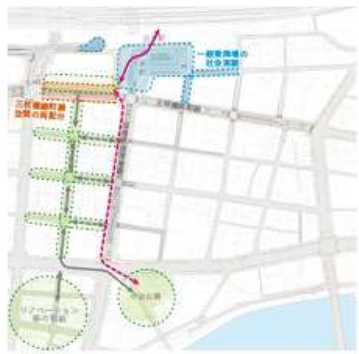
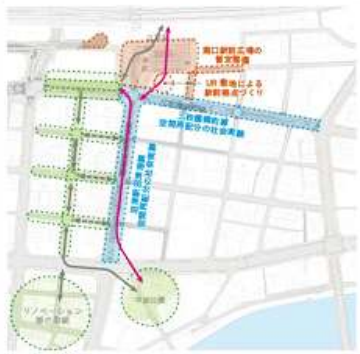
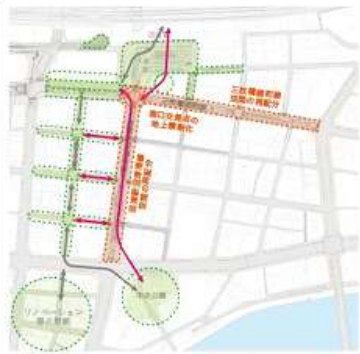
沼津駅沼津港線：東側

沼津駅と沼津港を結び、沼津のまちなかのシンボルとなるメインストリート。業務や住居など日常的な利用がされる東側エリアとのつながりや中央公園からの滲み出しを意識した道路利活用空間を設ける。

まちづくりシナリオ

現在の検討フェーズ



点「つかう・つくる」		線「つながる」		面「ひろがる」	
PHASE 1-1(令和3年度～)	PHASE 1-2(令和4年度～)	PHASE 2-1(令和6年度～)	PHASE2-2(令和9年度～)	PHASE 3-1(令和12年度～)	PHASE 3-2(令和15年度～)
イメージ 					
施策概要・狙い					
	・まちなかの貴重なオープンスペースである中央公園での利活用の取組に加え、空間のポテンシャルが最も高い(都)三枚橋錦町線西側区間において車道の一部を歩行者空間化する社会実験を実施する。 ・公共空間の利活用に対する機運やまちの変化に対する市民の期待を醸成する。	・社会実験を踏まえて、(都)三枚橋錦町線西側区間における定期的な地先空間活用を図り、<u>まちなかに新たな滞留・にぎわいスポットを生み出す。</u> ・仲見世商店街周辺で地先空間活用に係る新たな取組を試行し、「(都)三枚橋錦町線西側区間・仲見世商店街・中央公園・旧国1南エリア」へ歩行者の回遊を生み出す。	・南口駅前広場の暫定整備に向けて、一般車乗降場の東西分散化・周辺交通への影響に関する社会実験を実施する。 ・(都)三枚橋錦町線西側区間の再編整備、整備後の歩行者空間の利活用を推進し、駅からの動線及び仲見世商店街・中央公園を含む南北のつながりを強化する。	・南口駅前広場の暫定整備とUR敷地での活動拠点づくりにより、開かれた空間を駅前に創出し、<u>まちなかにヒトの交流によるにぎわいを生み出す。</u> ・(都)沼津駅沼津港線等の空間再配分に向けて、車線数の減少・沼津駅南口交差点の地上横断化に関する社会実験を実施する。	・駅前街路の再編整備、沼津駅南口交差点の地上横断化により、<u>歩きやすいまちなかを実現し、歩行者回遊範囲の面的拡大を図る。</u> ・(都)沼津駅沼津港線沿道と仲見世商店街周辺の連携による空間利活用により、<u>東西方向でのヒトの流れを生み出す。</u>

公共空間再編整備計画 | 駅前広場の再編 |

駅前広場 「居場所の再編」

再編方針

まちなかで過ごしたくなる、居心地の良い空間へ

- ・誰もが安心してそれぞれの時間を過ごすことができる滞留空間の創出
- ・まちなかで緑や自然を感じられる居心地の良い空間の創出
- ・様々な人の交流や活動、新たな出会いを生み出す場づくり

駅前広場の整備に当たっては、再編方針や駅前広場を構成するエリアごとの空間デザイン方針、計画平面図に示すポイントを意識するとともに、交通機能の配置の見直しと歩行者空間創出とのバランスも取りながら、ヒト中心の空間へと再編していきます。

「駅前広場」計画平面図



再編イメージ | 駅前広場・駅前街路 |



中期駅前広場の実現に向けた検討

公共空間再編整備計画での中期案実現のために、交通機能再編の社会実験の計画を検討している。

<現況>



- 一般車乗降場スペース数：6～7台程度
- 乗降場から改札までの距離：約35m（一番駅に近い乗降場から）

<検討案>

※関係者等との協議・調整を踏まえて決定します。



- 一般車乗降スペース数：14台（西側：6台、東側：8台）
- 乗降場から改札までの距離：約75m（一番駅に近い乗降場から）

それぞれの交通機能の適切な運用方法を協議し、社会実験で課題等を確認して中期整備案に反映を行う

中期駅前広場の実現に向けた検討

- 中期の駅前広場計画案では、大きく3つの交通機能再編の取り組みを予定しており、そのために社会実験でその効果や実現性を確認する必要がある。

中期駅前広場整備の交通再編に向けた検討事項

① 駅南口交差点部の地上横断化

<ねらい>

駅とまちなかを近づけるため、将来的に地上でスムーズな横断歩道を設置し、歩行者の回遊性を高めることを目指す

② 一般車乗降場の分散化

<ねらい>

南口駅前広場への一般車乗降スペースを分散化し、混雑緩和と駅前広場に利活用空間を設け、駅前を人中心の空間へ転換する。

③ 公共交通の待機スペースの削減

<ねらい>

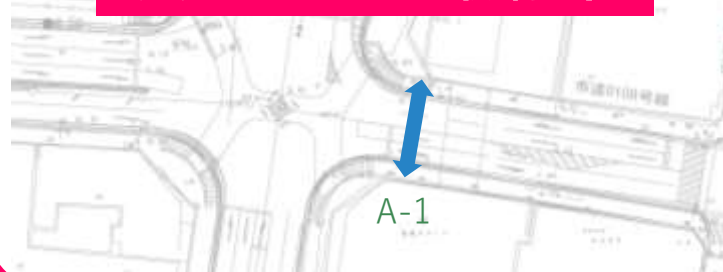
公共交通の待機スペースの効率化を図り、駅前広場の交通空間のコンパクト化し、利活用空間の創出や歩行者空間の拡幅を目指す。

【実験メニュー】

A-1 横断歩道部の設置

→歩行者動線のつながりによって、周辺の歩行者通行量や回遊行動に変化があるかどうかを確認

実施に向けた協議中



【実験メニュー】

B-1 東西に一般車乗降場を仮設設置

→それぞれの一般車乗降場の周知と、東西の動線変更の影響を確認

B-2 現況の一般車乗降場の利用を廃止し、駅前への流入規制

→東西に分散化した場合の交通量の確認

中期整備に向けて、課題の整理や将来形態の見直しを行う



【実験メニュー】

C-1 バス待機場の削減と運用の確認

→待機スペースの効率的な運用

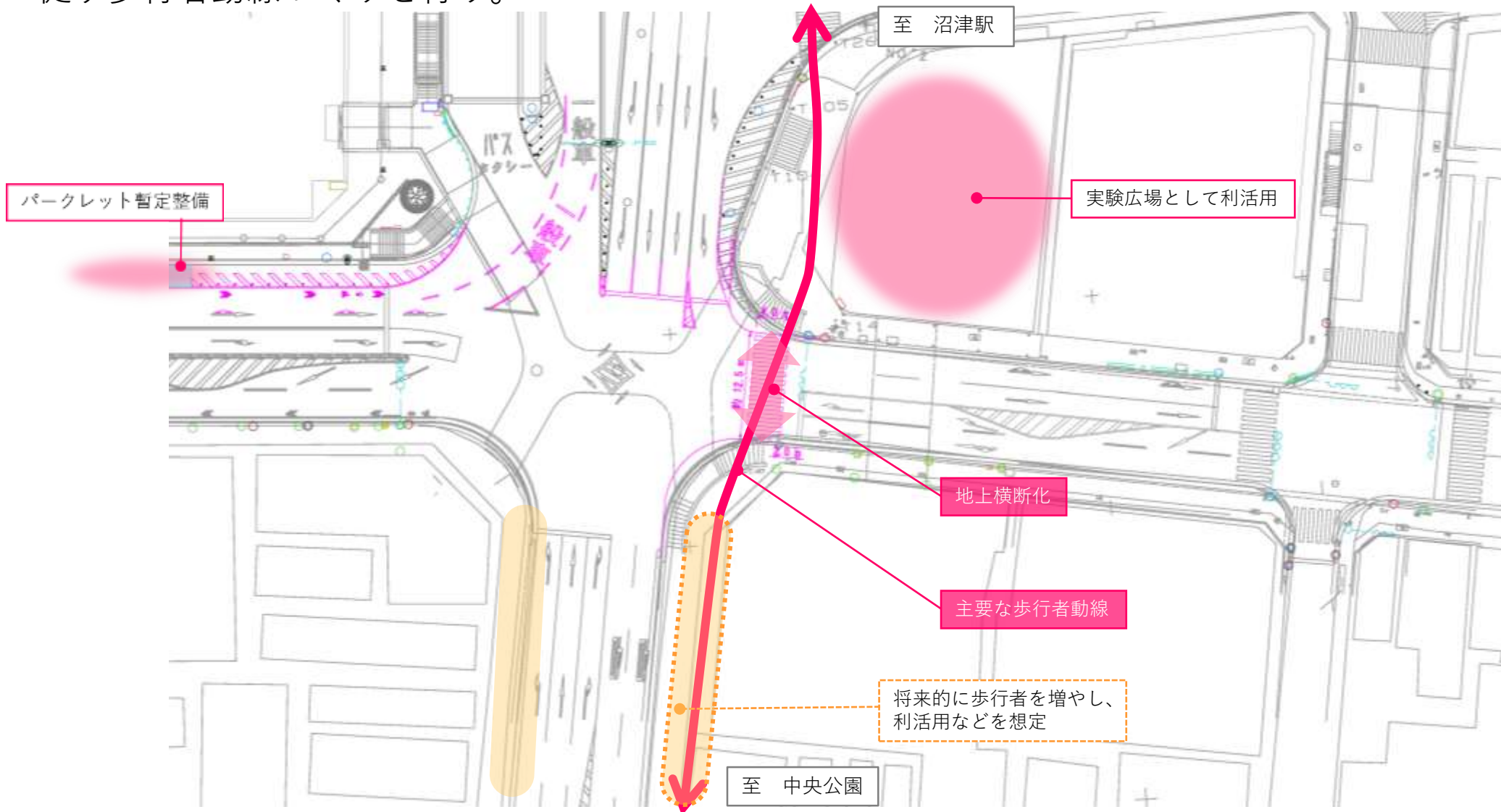
C-2 タクシー待機場の削減と運用の確認

→現在のタクシープールの利用効率化と待機台数の見直し



沼津駅南口交差点の地上横断化

- UR敷地の実験広場の整備に向けて、地上横断化を一部実施し、駅前からまちなかへの回遊をさらに促す歩行者動線づくりを行う。





5. 情報発信の取組

中心市街地のまちづくりを知る“きっかけ”となるコンテンツとして、
戦略の概要を誰にでもわかりやすい内容に再編集した動画や小冊子を作成して情報発信！



伝えやすい形に



昨年度の情報発信

紙面、SNS、動画など様々な形で情報発信を実施し
多様な属性へ情報を届ける

- アクセス解析から、紙面、SNS、動画など様々な形で情報発信することで相乗効果を狙う

Instagramのリーチ①



2022年8月～12月のアクセス解析 (Instagram)

ポスター



Instagram



チラシ



動画 (Youtube)



タブロイドの発行

地域事業者がまちなか空間活用に積極的に参加できるように
地域目線での情報発信として「タブロイド」を発行します

- まちなか空間活用に積極的な事業者目線での情報発信で、
民間事業者による公的空間活用と社会実験への積極参加を促進する。



タブロイド7月版（イメージ）



6. 本日の論点

本日検討・確認いただきたい事項

本日は主に下記の内容について、ご意見、ご確認いただきたい。

1. (都) 三枚橋錦町線暫定整備（パークレット設置）について

- 中期整備方針を踏まえたパークレット設置の検証項目
- パークレットの利活用方法や運営方法についてのご意見
- 設置中に試行すべきアクティビティやイベントのあり方等

2. 中期駅前広場整備に向けた検討について

- 駅周辺の歩行者動線に関する改善点やご意見など
- 現在の一般車乗降場の利用状況についてのご意見など

● その他

- 情報発信のターゲットと適切な手段について
- まちづくりへの理解や議論を深めるために必要な取組 など



7. 戦略会議・WG等のスケジュール

戦略会議・WG等のスケジュール（予定）

日程（予定）		中心市街地まちづくり戦略会議	ワーキンググループ
R5年度	7月10日		第10回 【公共空間再編WG】 パークレット設置計画案について 中期駅前広場整備に向けた検討について 情報発信の取組について
	8月7日	第12回 (本日) パークレット設置計画案について 中期駅前広場整備に向けた検討について 情報発信の取組について	
	9月		第11回 【公共空間再編WG】 パークレット設置報告 中期駅前広場整備に向けた検討について 情報発信の報告
	10月	(都) 三枚橋錦町線へのパークレット設置	
	1月		第12回 【公共空間再編WG】 パークレット状況報告 中期駅前広場整備に向けた検討について 三枚橋錦町線整備の検討について
	2月	第13回 パークレット状況報告 中期駅前広場整備に向けた検討について 三枚橋錦町線整備の検討について	